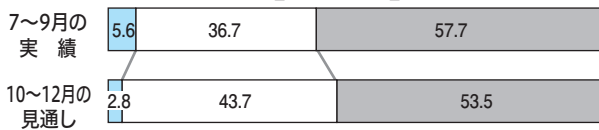




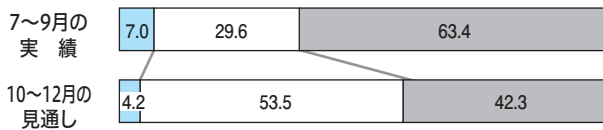
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

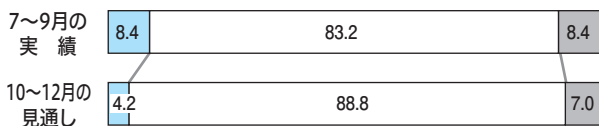
【業況】



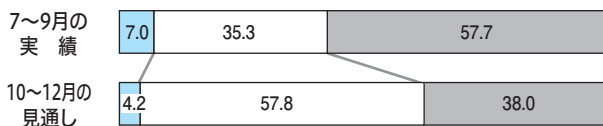
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△52.1、前期比12.7%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△56.3と前期比21.1%、収益判断D.Iでも△50.7と同比16.9%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△63.4、前期比18.3%、同収益判断D.Iは△60.6、同比16.9%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが11.3と前期比9.9%上昇し、人員の余剰感が強まっています。また、前期比残業時間D.Iは△31.0と前期比5.6%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が38.0%（前期38.0%）、「予定あり」が16.9%（同26.8%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は7.0%（前期9.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が52.1%、「同業者間の競争激化」が23.9%、「人手不足」が15.5%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

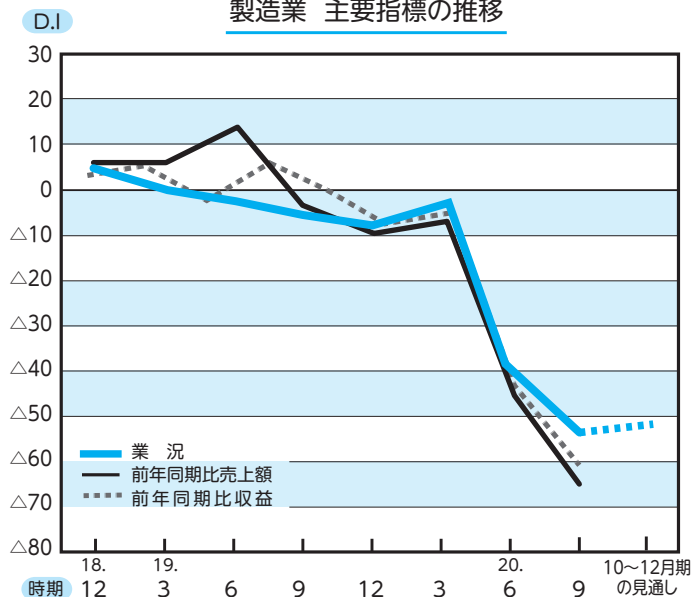
業況の見通し判断D.Iは△50.7、当期実績比1.4%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比18.3%、収益判断D.Iでも同比16.9%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%低下、残業時間D.Iは同比7.1%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「経費の節減」がそれぞれ50.7%、「人材を確保する」が21.1%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



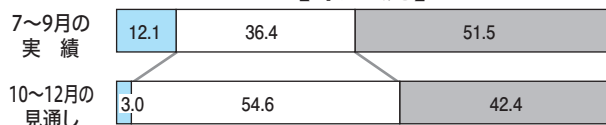
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響を受けて、売上げは大幅に減少。従業員の勤務時間を短縮するなどして対応している。尚、今後の先行きも不透明であるため、業務縮小も検討している。

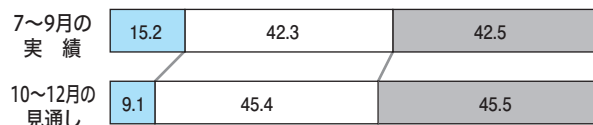
## ■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

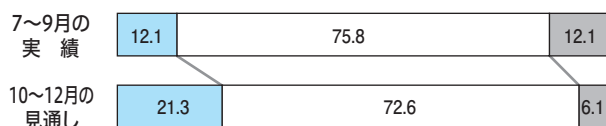
## 【業 況】



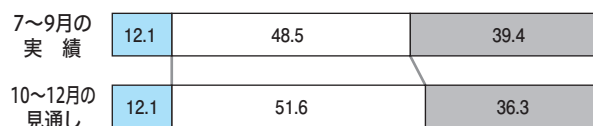
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



## 概況(7月▶9月期)

## 業況判断D.Iは△39.4、前期比3.0%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△27.3と前期比27.2%、収益判断D.Iでも△27.3と同比27.2%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△42.4、前期比12.1%、同収益判断D.Iは△39.4、同比9.1%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.1と前期比6.1%低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△9.1と前期比9.1%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が21.2%（前期39.4%）、「予定あり」が21.2%（同18.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.1%（前期15.2%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が51.5%、「同業者間の競争激化」・「取引先の減少」がそれぞれ21.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



## 見通し(10月▶12月期)

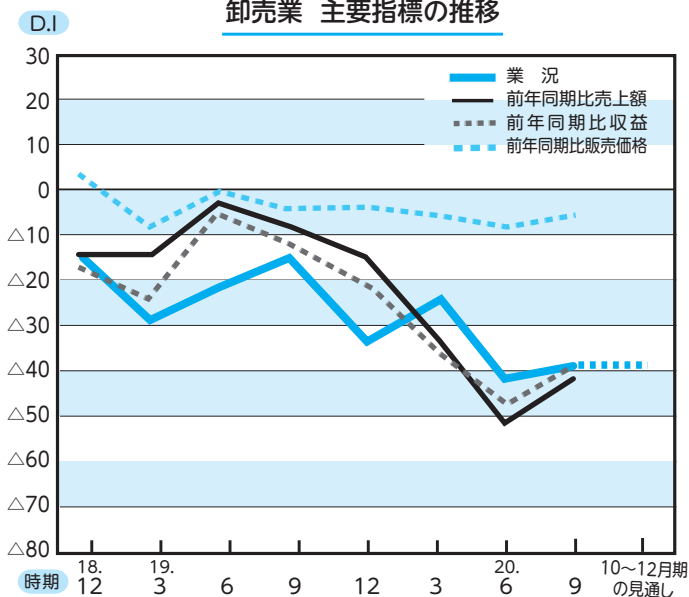
## 業況の見通し判断D.Iは△39.4と当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.1%低下、収益判断D.Iでは同比3.1%の改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比12.1%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断は当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iは同比6.1%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が60.6%、「経費の節減」が57.6%、「情報力の強化」が18.2%と上位に挙げられました。

## 卸売業 主要指標の推移



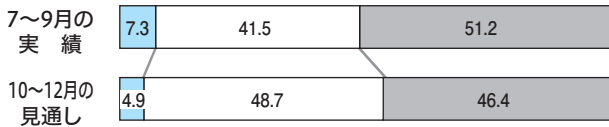
## 調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により、取引店（小売業）の休業等が要因で売上が減少。また、在庫調整が難しい状況。

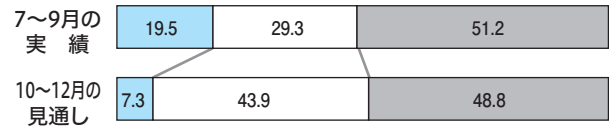
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

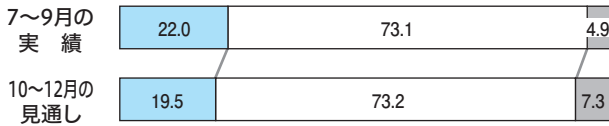
【業 況】



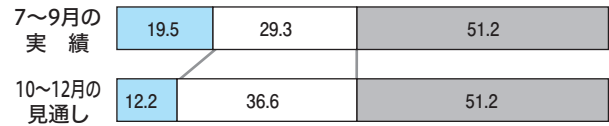
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△43.9、前期比9.8%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△31.7と前期比17.1%、収益判断D.Iでも△31.7と同比19.5%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△56.1、前期比2.4%、同収益判断D.Iは△53.7、同比2.5%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△4.9と前期比4.9%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△4.9と前期比12.2%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が26.8% (前期24.4%)、「予定あり」が9.8% (同19.5%) を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は4.9% (前期7.3%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が39.0%、「大型店との競争激化」が26.8%、「同業者間の競争激化」が22.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

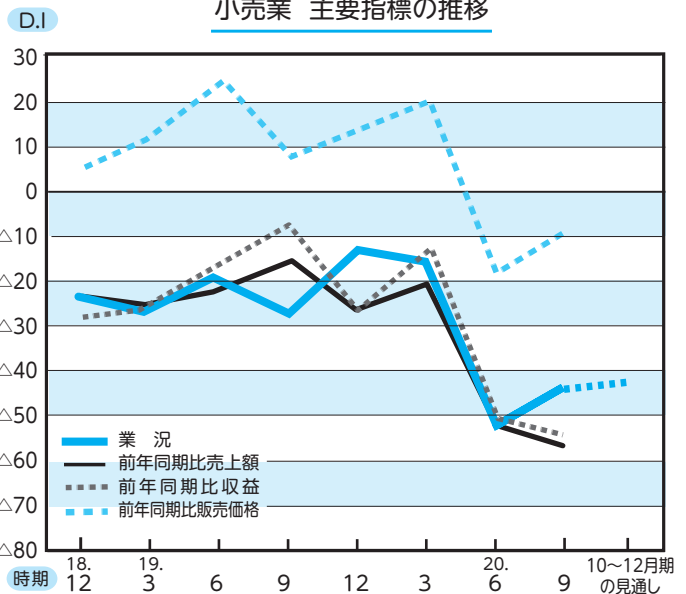
業況の見通し判断D.Iは△41.5、当期実績比2.4%改善の見込

項目別では、売上額判断 D.I が当期実績比9.8%、収益判断 D.I でも同比7.3%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断 D.I は当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断 D.I は当期実績比横ばい、残業時間判断 D.I においては同比2.4%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.2%、「品揃えを改善する」が39.0%、「仕入先を開拓選別する」が24.4%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



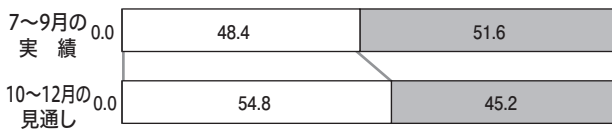
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により来店客数は減少している。尚、不特定多数の顧客と接する業種柄、従業員の不安は大きい。

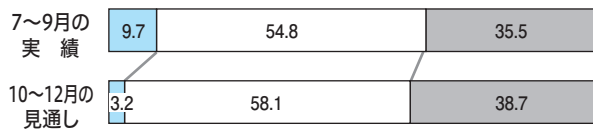
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

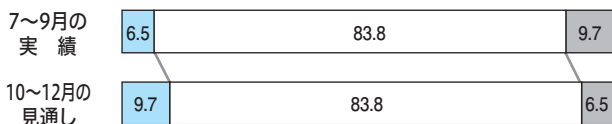
【業況】



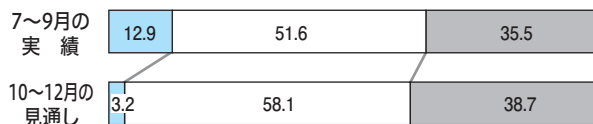
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△51.6、前期比22.6%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△25.8と前期比41.9%、収益判断D.Iでも△22.6と同比45.1%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△61.3、前期比9.7%、同収益判断D.Iは△61.3、同比12.9%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが9.7と前期比横ばいで、人手不足感がやや過剰を示しています。また、前期比残業時間D.Iは△25.8と前期比9.7%改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が35.5%（前期25.8%）、「予定あり」が9.7%（同29.0%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は6.5%（前期9.7%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ38.7%、「料金の値下要請」・「商圈人口の減少」がそれぞれ16.1%と上位に挙げられました。



見通し(10月▶12月期)

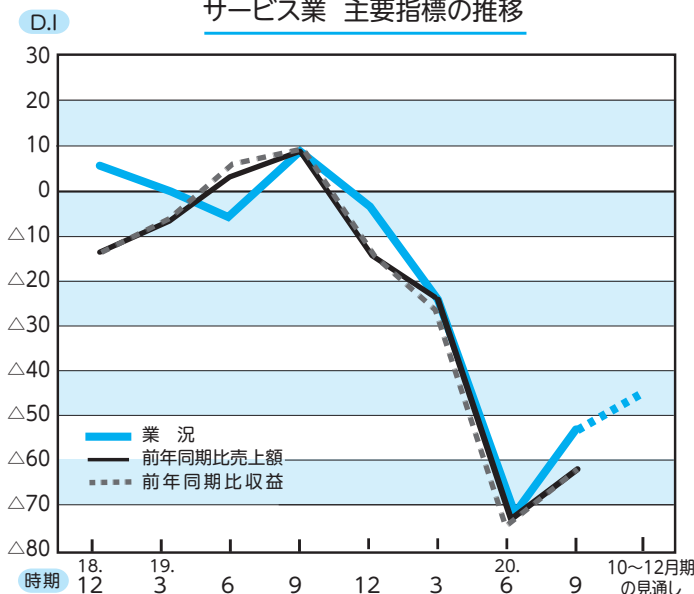
業況の見通し判断D.Iは△45.2、当期実績比6.4%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.7%、収益判断D.Iは同比12.9%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比6.4%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%低下、残業時間判断D.Iでは同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が48.4%、「販路を広げる」が38.7%、「宣伝・広告の強化」が16.1%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



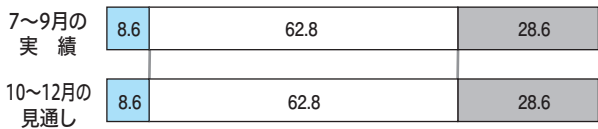
調査員のコメントから

新型コロナウイルス感染症防止のため、来店客を予約制にするなど密にならないような取組みを実施している。

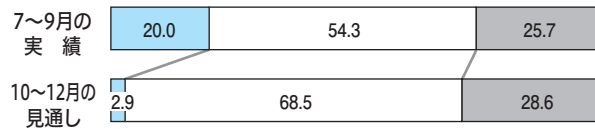
■ 建設業

回答企業数35企業(回答率97.2%)

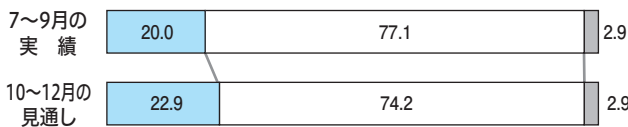
【業況】



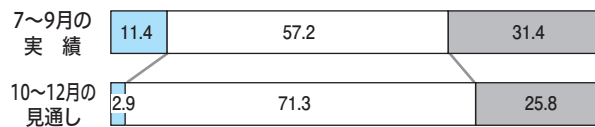
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△20.0、前期比13.3%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△5.7と前期比30.4%、受注残判断D.Iでも△8.6と同比19.2%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△34.3、前期比7.4%、同収益判断D.Iでも△28.6、同比13.1%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△17.1と前期比3.2%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△11.4と前期比0.3%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が40.0%(前期38.9%)、「予定あり」が22.9%(同25.0%)を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は5.7%(前期5.6%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が37.1%、「売上の停滞・減少」が34.3%、「人手不足」が28.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

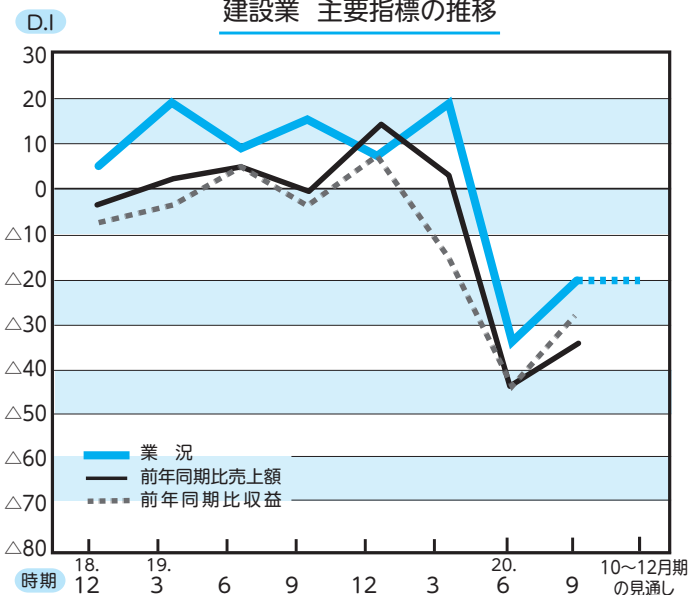
業況の見通し判断D.Iは△20.0、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比20.0%、収益判断D.Iでも同比2.9%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比2.9%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.9%低下、残業時間判断D.Iは同比2.8%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.4%、「販路を広げる」が37.1%、「人材を確保する」が25.7%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



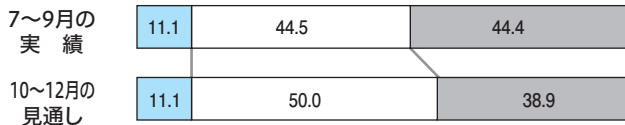
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響による建築資材の入荷遅れや工期延長等は改善されつつあるが、受注状況は減少傾向にあり、今後不安を抱えている。

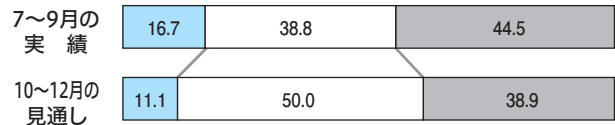
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

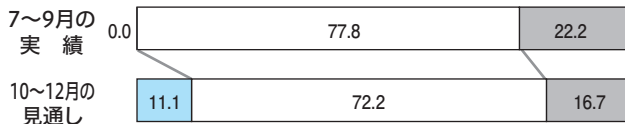
【業況】



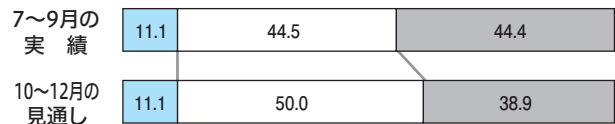
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△33.3、前期比16.7%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△27.8と前期比44.4%、収益判断D.Iは△33.3と同比27.8%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△33.3、前期比27.8%、収益判断D.Iは△33.3、同比16.7%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比11.1%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△11.1と前期比11.1%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2% (前期22.2%)、「予定あり」は16.7% (同22.2%)を示しています。

経営上の問題点では、「利幅の縮小」が27.8%、「売上の停滞・減少」・「大手企業との競争激化」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

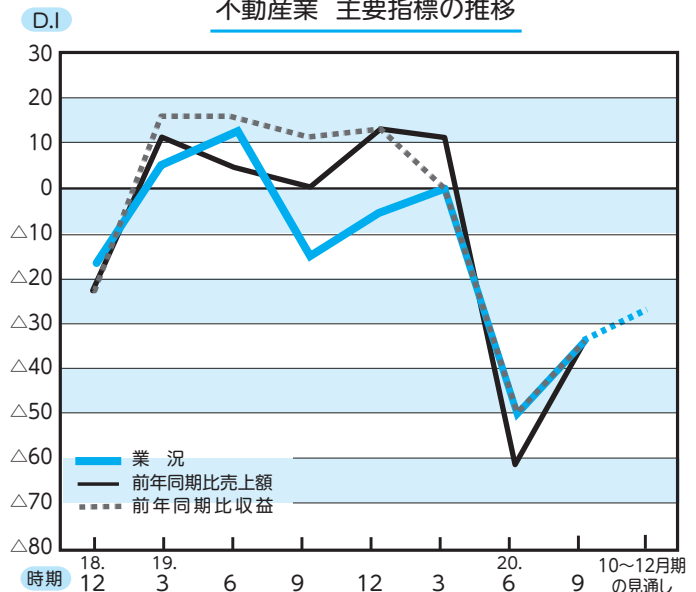
業況の見通し判断D.Iは△27.8、当期実績比5.5%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iでは同比5.5%の改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.5%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.I、残業時間D.Iともに横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「宣伝・広告の強化」が44.4%、「販路を広げる」・「経費の節減」・「情報力の強化」がそれぞれ33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は、前期(4~6月)に比べ、不用不急の外出自粛が緩和され動きが戻ってきた。尚、収入減少により家賃滞納者が散見された。

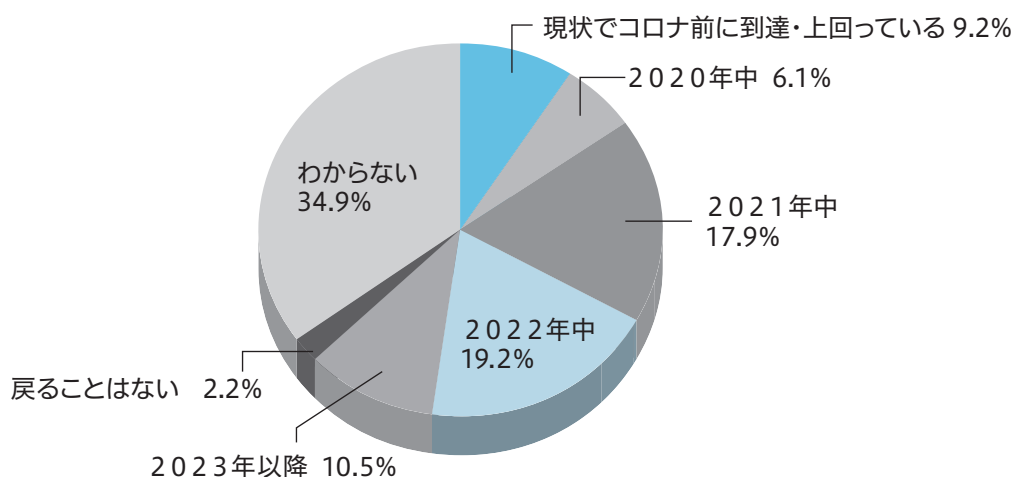
特別  
調査新型コロナウイルスの感染拡大を受けた  
中小企業の対応について

「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応」について調査を実施しました。

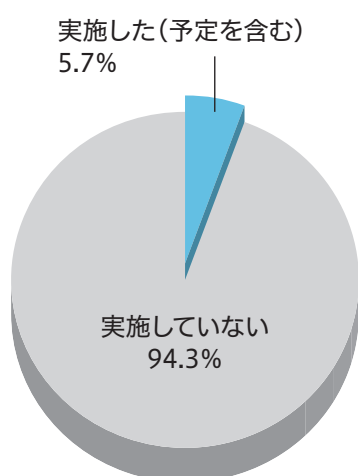
「貴社では、売上高がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか」の質問に対し、「2022年中」との回答が19.2%と最も多く、次いで「2021年中」との回答が17.9%という結果となりました。

そのほか、「貴社では、テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む。）していますか」を、次のように取り纏めました。

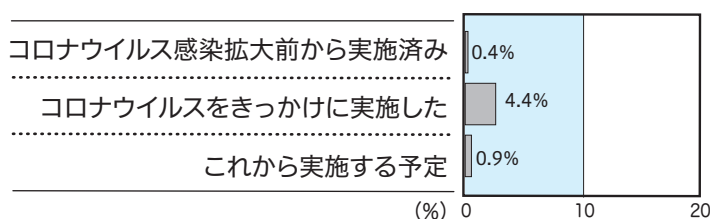
**問1** 貴社では、売上高がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか。



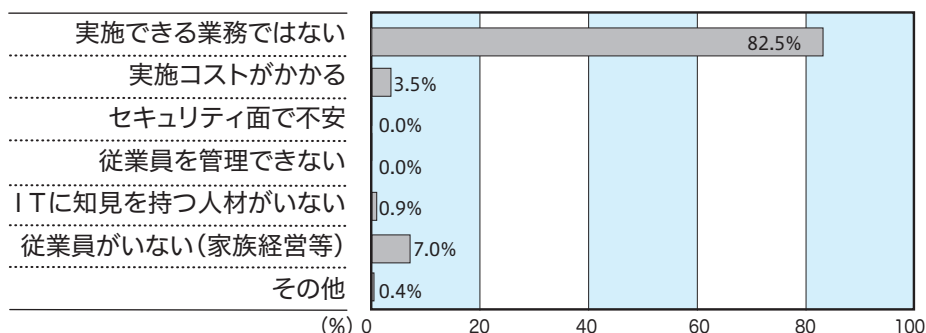
**問2** テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む。）していますか。



## 【実施した(予定を含む)理由】



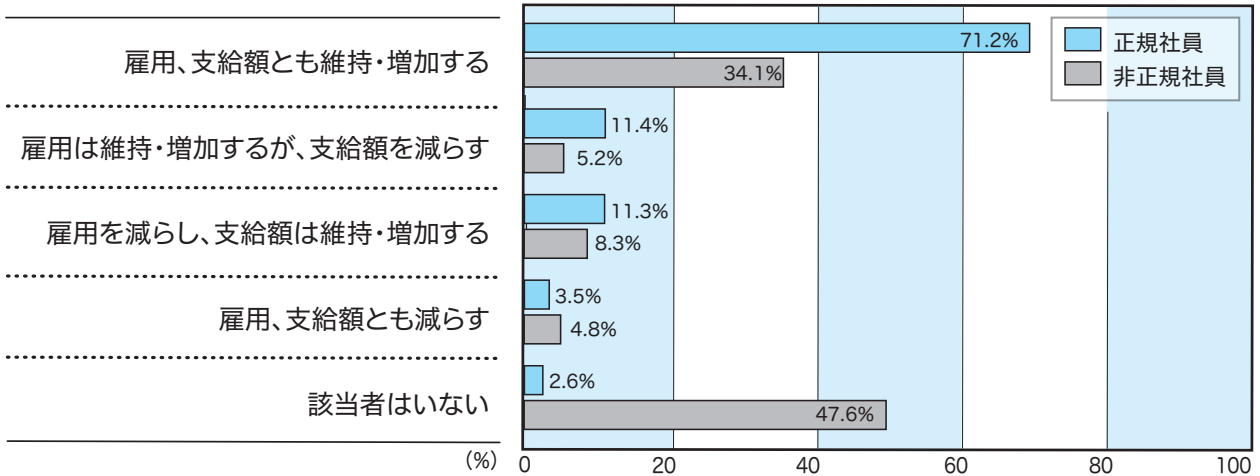
## 【実施していない理由】





問3

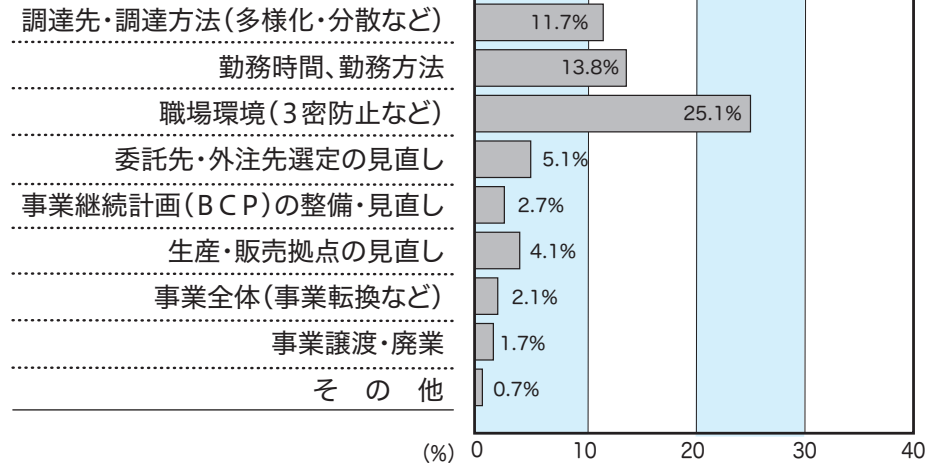
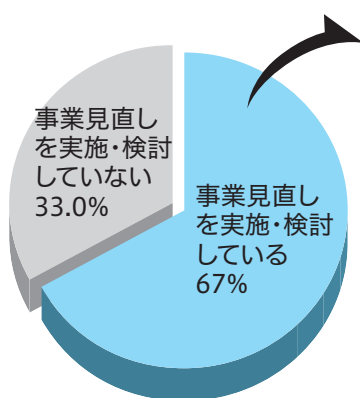
貴社では、今現在、雇用ならびに1人当たり支給額（給与、手当、賞与等）に関する方針について、どのようにお考え（予定を含む）ですか。正規社員・非正規社員（パート、アルバイト、派遣社員等）それぞれお答えください。



問4

貴社では、今現在、今後の事業の見直しについて、実施・検討していることはありますか。

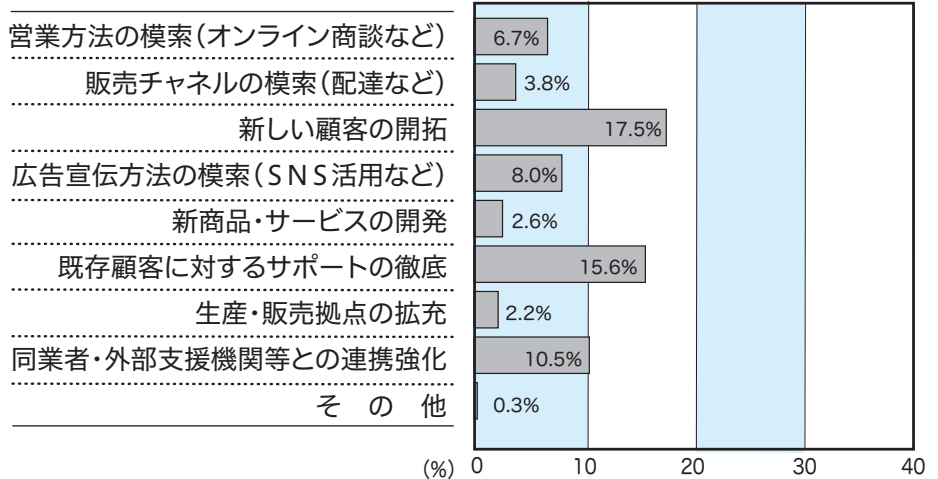
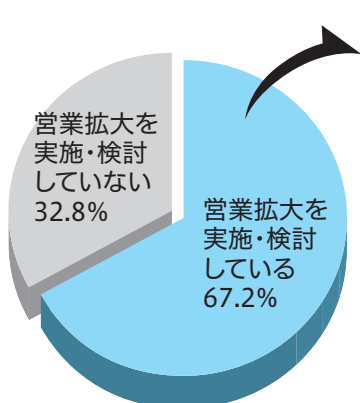
【今後の事業の見直しの内容】



問5

貴社では、今現在、営業拡大の観点で実施・検討していることはありますか。

【営業拡大の観点で実施・検討している内容】



提携事業所にお勤めのみなさまへ

# 職域サポート契約制度

## 職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

## ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の  
ローン商品の金利を  
店頭表示金利から

年 **1.50%**  
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

## 職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

### 一般個人ローン

ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### ブライダルローン

ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### カーライフプラン

ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### 教育プラン

ご融資金額 **500万円以内**（\*1）

ご利用期間 **10年以内**（\*2）

### 子育て応援プラン

ご融資金額 **100万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### リフォームプラン

ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **15年以内**

（\*1）6年制大学の場合は1,000万円以内

（\*2）6年制大学の場合は16年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。



結城信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



## — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414  
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>